

2026年10月入学
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科
(博士前期課程)

外国人留学生海外特別入試 学生募集要項
(Global Interdisciplinary Science Course)

出願期間	2026年 6月25日(木) ~ 7月9日(木)
合格者発表	2026年 7月 31日(金)
入学手続	2026年 9月17日(木) 及び 9月18日(金)

出願書類提出・問い合わせ先

岡山大学自然系研究科等学務課 大学院担当 (工学部1号館1階)
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
TEL 086 (251) 7771
E-mail hs7771@adm.okayama-u.ac.jp

大学院課程教育における方針

(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディグリー・ポリシー)

ヘルスシステム統合科学研究科ホームページの下記URLを参考にしてください。

アドミッション・ポリシー

<https://www.int.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/policy/admission-policy/>

カリキュラム・ポリシー

<https://www.int.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/policy/curriculum-policy/>

ディグリー・ポリシー

<https://www.int.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/policy/degree-policy/>

1 募集人員

コース	募集人員
バイオ・創薬コース	若干人
医療機器医用材料コース	
ヘルスケアサイエンス・ヒューマンケアイノベーションコース	

2 出願資格

次の各号のいずれにも該当する者

1 次のいずれかに該当する者又は2026年9月までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15

年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

- 2 日本国籍を有しない者で、日本国外に居住し、入学試験を受験するために渡日することができないもの
- 3 大学院入学までに、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みの者
- 4 出身学校から人物・学力ともに特に優秀である旨推薦された者
- 5 志望指導教員の受入内諾がある者

(注1) 出願資格1-(2)該当する者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与(申請受理)証明書を提出できる者
- ② 学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できるもの

(注2) 出願資格1-(3)に該当する「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」とは、外国において正規の学校教育における16年の課程を修了した者です。

なお、大学卒業までに16年を要する国で修学した者が、飛び級している場合は、16年目の課程を修了していれば、22歳未満であっても上記に該当します。

(注3) 出願資格1-(9)に該当する「学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの」とは、他の研究科へ飛び入学により入学した学生が本研究科へ入学を希望する場合で、「5出願手続(5)出願に必要な書類等」に記載の「⑧他研究科での在学期間証明書」を提出できる者です。

(注4) 出願資格1-(10)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試験)及び面接を行い、出願資格を認めた者です。

ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は免除することがあります。

(注5) 出願資格1-(10)~(14)により出願する場合は、出願に先立ち入学資格審査を行いますので、「3出願資格における個別の入学資格審査」により、期限内に入学資格審査の申請を行ってください。

(注6) 出願資格1-(12)に該当する「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」とは、大学卒業までに15年を要する国において、飛び級し、大学教育を修了した者も含まれます。

(注7) 学位授与見込みで出願した者で、2026年9月までに学位が授与されないものは入学を取り消します。

(注8) 出願資格2に定める「日本国外に居住し、入学試験を受験するために渡日することができない」には、出願時に日本国内に滞在する者であって、2026年7月末までに滞在期間が終了し日本国外へ出国するものを含めます。

3 出願資格における個別の入学資格審査

前記2の出願資格1-(10)~(14)における入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、「(1)入学資格審査書類提出期間」内に必着するように、(2)の入学資格審査提出書類を表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」へ提出してください。

(1) 入学資格審査書類提出期間

2026年 5月27日(水) ~ 5月28日(木)

(2) 入学資格審査提出書類

該当する出願資格区分に●のついている書類をそろえてください。

必要な書類等	適用	出願資格	
		1-(10)	1-(11) ~(14)
①入学資格審査申請書	本研究科所定の様式を使用してください。	●	●
②最終(在学)学校の学業成績証明書及び卒業(修了)証明書または在学証明書	最終出身学校長が作成したものを提出してください。	●	●
③推薦書	本研究科所定の様式を使用し、最終出身学校において所要事項を記入したものを提出してください。		●
④研究計画書	本研究科所定の様式を使用してください。		●
⑤研究業績又は研究計画・経過報告書	本研究科で希望している研究分野に関連するこれまでの研究業績の一覧又は研究計画・経過を任意様式にまとめたものを提出してください。	●	

(注1) 上記の書類は、原則として英語で作成してください。(母国語が英語以外の場合は、英訳を添付してください)

(注2) 提出書類①~⑤は原本の提出が必要です(ただし、②は発行元により原本証明を受けたものでも可)。

(3) 入学資格審査提出先

「出願書類提出・問い合わせ先」へ提出してください。

(4) 入学資格審査の方法

前記2の出願資格1-(11)~(14)における入学志願者は、提出された書類により入学資格審査を行います。

出願資格1-(10)における入学志願者は、提出された書類、筆記試験及び口頭試問(面接を含む。)等により、入学資格審査を行います。ただし、書類審査の結果によっては、筆記試験の一部又は全部を免除することがあります。免除する試験科目及び審査日時等の詳細については、個別にお知らせします。

(5) 入学資格審査結果通知予定日：2026年 6月25日(木)

上記の日程で志望指導教員を通じて通知します。

(6) 入学資格審査における注意事項

①出願資格1-(11)により出願し、合格した者の学部学生としての身分は、退学となります。また、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件とするものについては、受験資格が無いことになるので注意してください。

②出願資格1-(11)~(14)による申請者は、下記のいずれにも該当する者に限ります。また、3年次終了時(15年の課程修了時)の成績で最終資格確認を行い、下記の成績基準を満たすことができなかつた者は、入学資格がありません。

・第3年次終了時(15年の課程修了時)までに修得可能な卒業要件単位(修了要件単位)

のすべてを修得見込みであること。

- ・修得した卒業要件単位(修了要件単位)に該当する科目のうち8割以上の科目の評価が、100点満点中80点以上の評価(80点以上に相当する評語)を得る見込みであること。

③入学資格が認定された者は、入学資格審査の申請をした部門に限り出願することができます。

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、以下の①～③の手続きをすべて行ってください。

- ①出願書類作成の前に、本研究科での志望指導教員とメール等により直接連絡を取り、入学後の研究・教育について相談し、受験の承諾を得て、「志望指導教員受入内諾書」の写しを受領してください。研究科の志望指導教員は以下の URL を参照ください。

ヘルスシステム統合科学研究科：<https://www.int.gisehs.okayama-u.ac.jp/staff/>

- ②志望指導教員の承諾を得た後、入学検定料を支払ってください。(支払い不要の者を除く。)
- ③出願書類等のすべてを、「(2) 出願期間」内に必着するよう郵送してください。

(2) 出願期間

2026年 6月25日(木)～7月9日(木)

(3) 出願書類提出先

表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」へ提出してください。

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- ⑥ 出願資格の確認のため、追加の出願書類の提出を求めることがあります。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類	摘 要
①入学願書・履歴書・写真	本研究科所定の様式を使用してください。 縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願以前3か月以内に撮影した写真を、「入学願書」の所定欄に貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に国籍及び氏名を記入してください。
②入学検定料	30,000円(手数料が別に必要です。 出願期間最終日の17:00(日本時間)までに次の「入学検定料支払の流れ」をご確認のうえ、「入学検定料支払サイト」よりお支払いください。

	<p>なお、支払い方法は必ず「クレジットカードでの支払い」を選択してください。 その他の支払い方法は海外からのご利用ができません。 入学検定料の支払後に、「入学検定料支払証明書」を印刷し、所定用紙の所定欄へ貼付してください。</p> <p>【入学検定料支払の流れ】 英語版：https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/admission/requirement/</p> <p>【入学検定料支払サイト】 英語版：https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng</p> <p>以上の方法による支払ができない場合は、「出願書類提出・問い合わせ先」にお問い合わせください。</p> <p>国費外国人留学生（2026年10月1日時点の国費外国人留学生としての身分が確定している者に限る。）の入学志願者は、入学検定料の納入は不要です。</p> <p>【入学検定料の返還について】 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p>
③出身大学の卒業（見込）証明書	出身大学が作成したものを提出してください。
④出身大学の成績証明書	出身大学が作成したものを提出してください。
⑤提出論文等の要旨	<p>(1) 学士論文要旨又はそれに代わる研究論文要旨（英語） (2) 提出した学士論文がない場合、研究業績又は研究計画・経過報告書（本研究科で希望している研究分野に関連するこれまでの研究業績の一覧又は研究計画・経過）を任意様式にまとめたもの（英語） (3) 学士の学位取得後の研究業績リストと、そのうち代表的研究論文の要旨1点又は2点（ある場合）</p>
⑥研究計画書	<p>【ヘルスケアサイエンス・ヒューマンケアイノベーションコースのみ】 本研究科所定の様式を使用してください。</p>

出願に必要な書類	摘 要
⑦英語能力を証明できるもの (TOEIC®、TOEFL-iBT®等)	TOEIC®、TOEFL-iBT®等の成績がない場合は、最終出身大学等による英語能力証明書 (母国語が英語の場合は、最終出身大学等での教育を英語で受けたことを証明してもらってください。) ヒューマンケアイノベーション部門6分野 (p.11) の入学志願者は、CEFRのC1以上の英語能力を要する。
⑧パスポートの写し又は市民籍の証明書・戸籍謄本	パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。 パスポートを所持していない場合、本国において取得した市民籍等の証明書又は戸籍謄本を提出してください。
⑨学長宛推薦書	本研究科所定の様式を使用し、最終出身大学(卒業見込みの者については在籍中の大学)の学長又は学部長が作成したものを提出してください。 なお、有職者については上記の推薦書に加えて、現在の職場の上司が作成した推薦書(様式は問いません。)も任意で提出してください。
⑩学士の学位授与(申請受理)証明書等	2の「出願資格」1―(2)に該当する(見込みの)入学志願者のみ、次のものを提出してください。 〔学位を授与された入学志願者〕 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書 〔学位の授与を申請中の入学志願者〕 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書 〔学位の授与を申請予定の入学志願者〕 短期大学長又は高等専門学校長が作成し、厳封した次の証明書を提出してください。 ア 専攻科の修了見込証明書 イ 学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意)
⑪他研究科での在学期間証明書	2の「出願資格」1―(9)に該当する入学志願者のみ
⑫志望指導教員受入内諾書	志望指導教員へ依頼し、志望指導教員が作成したものの写しを提出してください。

(注1) 提出書類は、すべて規格を統一(A4判が望ましい)し、タイプを用いてください。

(注2) 提出書類が完全に揃っていない場合、完全かつ正確に記載されていない場合、又は提出期限が過ぎたものについては、受理しません。

(注3) 提出書類①、③、④、⑥、⑨、⑩、⑪は原本の提出が必要です(ただし、③、④は発行元により原本証明を受けたものでも可)。

(注4) 上記の書類は、⑫を除き、原則として英語で作成してください。(英語以外の母国語の場合は、英訳を添付してください。)

(注5) 入学資格審査で入学資格が認定された入学志願者は、③、④の証明書の提出は不要です。

5 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、出願書類等により書類審査を行い、可否を決定します。

6 合格者発表

2026年 7月31日(金)

合格者には、上記合格者発表日付で、合格通知書等を、志望指導教員を通じて本人あてに送付します。

7 入学手続

(1) 入学手続方法

合格者は、入学手続を完了することにより、入学が許可されることとなります。
詳細は合格通知書とともに、別途連絡します。

(2) 入学手続期間

2026年 9月17日(木)及び2026年 9月18日(金)

8 その他

(1) 入学料及び授業料(私費外国人留学生のみ該当 国費外国人留学生は不要です。)

入学料 282,000円(予定額)

授業料(半期分) 267,900円(年額535,800円)(予定額)

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助・留学生宿舍

私費外国人留学生の方は、修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

学業成績及び収入状況等が条件を満たせば、入学料免除・徴収猶予及び授業料免除の申請を行い、全額又は半額の免除を受けられるや、

各種奨学金に申請を行い、奨学金の支給を受けられる場合があります。

また、岡山大学には留学生のための宿舍として、桑の木留学生宿舍、福居留学生宿舍、国際交流会館、国際学生シェアハウスがあり、いずれも、津島キャンパスから徒歩圏内にあります。

【奨学金、宿舍等に関する問い合わせ先】

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学学務部国際教育推進課

<https://intl.okayama-u.ac.jp/en/support/>

奨学金に関すること： dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

宿舍に関すること： housing@cc.okayama-u.ac.jp

(3) 注意事項

留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況について、予め調べておくことが望まれます。

日常生活では日本語が必要になりますので、日本語についても勉強しておくことが望まれます。

岡山大学では、留学生のための日本語コースを設けていますので、希望者は受講してください。

(4) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務情報システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び各種奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

(5) 安全保障輸出管理について

岡山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「岡山大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。「外国為替及び外国貿易」等により規制されている事項に該当する場合は、入学を許可しない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があります。

参考（経済産業省ホームページ）<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

(6) 本募集に関する問い合わせについて

以下の項目を記載のうえ、メールでお送りください。

- ①氏名（ふりがな）／②大学・学部等名（現在の所属あるいは出身）／③メールアドレス／
④現在学んでいる専門分野／⑤取得済みの学位／⑥志望する課程（博士前期課程）／⑦出願予定の入試名（外国人留学生海外特別入試）／⑧志望する教員名／⑨相談内容（具体的に記載してください）

ヘルスシステム統合科学研究科英語コース案内

コース	教育研究分野
バイオ・創薬コース	生体機能分子設計学
	1 分子生物化学
	細胞機能設計学
	無機バイオ材料工学
	生体分子工学
	オルガネラシステム工学
	蛋白質医用工学
	分子細胞工学
医療機器医用材料コース	人間情報処理学
	医用情報ネットワーク学
	先端医用電子工学
	インタフェースシステム学
	認知神経科学
ヘルスケアサイエンス・ヒューマンケア イノベーションコース	ヘルスシステムマネジメント学
	看護科学
	生体情報科学
	放射線健康支援科学
	未病科学
	医療技術臨床応用学
	日本文化論
	宗教人間文化論
	医事法学
	科学史技術論
	臨床死生学
	ソーシャルイノベーション論

参考に、本研究科教職員一覧をご覧ください。 <https://www.int.gisehs.okayama-u.ac.jp/staff/>

ヘルスシステム統合科学専攻 ヘルスシステム統合科学講座

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所属教員
バイオ・創薬	生体機能分子設計学	核酸結合タンパク質や酵素を始めとした、生体機能制御分子の機能解析及び得られた知見に基づいて設計した人工生体機能分子の医療・農業への応用を目指した異分野融合研究	世良 貴史 教授 森 友明 講師 森 光一 助教
	1分子生物化学	タンパク質の機能解析及びその分子機構の解明、医療・環境科学への応用	平野 美奈子 准教授 早川 徹 助教
	細胞機能設計学	細胞内シグナル伝達研究と創薬科学への応用	☆ 徳光 浩 教授 曲 正樹 助教 △ 大塚 里美 助教
	無機バイオ材料工学	無機材質を基本とした構造が精密に制御された医用材料の設計と応用に関する研究	早川 聡 教授 吉岡 朋彦 准教授 片岡 卓也 助教
	生体分子工学	新規生体機能分子の設計に立脚し、主としてRNAの働きに着眼した生命工学・生命科学研究	大槻 高史 教授 渡邊 和則 准教授 △ 高原 茉莉 助教
	オルガネラシステム工学	細胞内オルガネラ形成や物質輸送制御の機序解明とその応用に関する研究	佐藤 あやの 教授
	蛋白質医用工学	蛋白質の効率的な生産・解析法の開発と医用工学分野への応用に関する研究	二見 淳一郎 教授 森井 真理子 助教 △ 宮本 愛 助教
	分子細胞工学	免疫細胞機能の分子レベルでの解明とその応用技術の開発	金山 直樹 准教授
医療機器 医用材料	人間情報処理学	信号処理、確率統計理論、機械学習等に基づいて人間の視聴覚情報処理や行動を分析、モデル化すると共に、それらをサービスに応用する研究	小川 厚徳 教授 相田 敏明 講師
	医用情報ネットワーク学	コンピュータネットワークや通信プロトコルの性能解析・評価法及び高信頼化・高機能化法とそれらの医用への応用	△ 三浦 秀芳 助教
	先端医用電子工学	バイオ・メディカル分野で重要なセンサデバイスを用いた各種計測技術、システム化及び信号処理設計に関する研究	紀和 利彦 教授 王 璿 准教授 △ 嶺 颯太 助教
	インタフェースシステム学	人間と協調したり人間の活動を支援するヒューマンコンピュータインタラクション技術、メディア認識・処理技術、ロボット技術とそれらの医療・介護システムへの応用に関する教育研究	中澤 篤志 教授 中谷 真太郎 准教授
	認知神経科学	認知心理学とニューロンイメージング手法を用いたヒトの認知神経機能の解明及び医療福祉への応用に関する教育研究	楊 家家 教授 高橋 智 准教授 △ 横山 寛 助教

注1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に問い合わせてください。

部門名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	所属教員
ヘルスケアサイエンス	ヘルスシステムマネジメント学	医療の臨床実践や新規治療法開発において、有限の人材、資源、資金を有効に利用し配分しながら、組織を構築し、戦略を立て、人材を動機づけていくための理論構築に関する研究	渡邊 豊彦 教授*
	看護科学	災害・健康危機・人道危機時の保健・医療・公衆衛生・福祉の戦略的対応を可能にするマイクロからマクロまでの組織構築に関する研究、および支援者支援に関する研究	原田 奈穂子 教授*
	生体情報科学	生体情報を正しく計測・処理する技術およびその解析・評価法、さらに得られた情報、データベース等に基づいた社会での活用に関する教育研究	森田 瑞樹 教授*
	放射線健康支援科学	医療分野における放射線の物理計測・評価技術の開発応用や生体への治療効果・副作用など予測シミュレーションに関する研究	笈田 将皇 准教授*
	未病科学	医療・健康データを用いた未病の分析と、行動変容を促す個別化されたヘルスケアシステムの構築に関する研究	△ 横山 慎太郎 助教*
	医療技術臨床応用学	ナノテクノロジーを用いた医薬品などを、実際の疾患治療に活用する際の、疾患知見を踏まえ血管や繊維組織を中心とした生物学的な反応解析研究、または、医療データによる疫学的な解析研究	狩野 光伸 教授
ヒューマンケアイノベーション	日本文化論	日本思想史研究の方法・視点をベースとした医療・介護の現場に根ざす老い・看取り・死をめぐる研究	本村 昌文 教授
	宗教人間文化論	人間の生と死や身体と魂（精神）の関係についての思想的・宗教学的的研究	袴田 玲 准教授
	医事法学	医療現場に生起する法的諸課題を医療行為と医療制度の両面から把握・分析したうえで、解決策を提示し得る人材の養成を志向する教育研究	穴戸 圭介 教授
	科学史技術論	ケアにかかわる科学技術の発展と高齢化諸問題との関連やあり方に関する研究	吉葉 恭行 教授
	臨床死生学	医療・ケア現場における死生に関する課題と、問題解決のための理論・具体的方法のあり方の臨床死生学的な研究	日笠 晴香 准教授
	ソーシャルイノベーション論	医療・ケア現場における多様な課題に対する技術革新および社会イノベーションの開発・適用に関する教育研究	藤井 大児 教授

注1) △印の教員は、指導教員として志望できません。

注2) ☆印の教員を志望する場合は、事前に表紙の「出願書類提出・問い合わせ先」に問い合わせてください。

注3) *印は、鹿田キャンパスの教員です。